

宗像市議会  
議長 神谷 建一 様

予算決算第2特別委員会  
委員長 上野 崇之

### 委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

#### 記

第59号議案から第65号議案までの7議案は、地方自治法及び地方公営企業法の規定により、令和2年度各会計歳入歳出決算が、監査委員の意見を付けて議会の認定に付されたものである。

#### 第59号議案 令和2年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

##### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 617万 202円  
歳出決算額 276万7,167円  
歳入歳出差引額 340万3,035円
- 2 令和2年度末時点での滞納残高は6,502万3千円で、滞納者は22人、件数は31件である。そのうち、14人の納付があり、1人が完済した。
- 3 償還が著しく困難であるとして県の償還推進助成事業の対象となった1件、貸付元金74万1,898円について不納欠損として処理した。

##### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

#### 第60号議案 令和2年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

##### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

##### 〔事業勘定〕

- 1 歳入決算額 100億368万9,058円（前年度比1.3%減）  
歳出決算額 98億111万1,558円（前年度比0.2%減）  
歳入歳出差引額 2億257万7,500円

- 2 実質収支は2億257万7,500円の黒字であったが、単年度収支は約1億1,500万円の赤字となった。
- 3 新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えとインフルエンザ等が流行しなかったことにより、全国の傾向と同様に、宗像市の1人当たり医療費も減少に転じた。
- 4 国民健康保険税の現年度分の収納率は97.33%で、前年度より1.03ポイント上昇した。
- 5 医療費適正化の取組として、レセプト点検、柔道整復師施術療養費の点検、ジェネリック医薬品の普及、医療費通知の発送、特定健診・特定保健指導などを行った。レセプト点検効果率は減少傾向であったが改善した。ジェネリック医薬品の普及では、先発医薬品の代わりにジェネリック医薬品を使用した場合の差額を記載した差額通知書の発行や医師会・薬剤師会等との連携の結果、普及率は昨年度より3.6ポイント増加した。
- 6 新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免は、132件で、3,173万9,900円を減免した。

#### 〔直営診療施設勘定〕

- 1 歳入決算額 7,688万 493円（前年度比5.9%増）  
歳出決算額 7,423万7,196円（前年度比3.6%増）  
歳入歳出差引額 264万3,297円
- 2 患者搬送車購入のため、歳入歳出ともに前年度比で増額となった。
- 3 歳入において診療収入が減少しているのは、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えではなく、島民人口の減少が要因と考えられる。

#### 【意見】

（賛成意見）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免については、市民の心情に寄り添った相談対応等を要望する。また、国民健康保険基金を有効に活用し、国民健康保険税率の軽減を目指してほしい。
- ・コロナ禍において、特定健診や特定保健指導等の事業を努力して実施したこと、国民健康保険税率を据え置いたことを評価する。国民健康保険基金については必要分を確保しながらも、被保険者の負担軽減措置への充当を要望する。また、特定健診については、高齢化により集団健診に行けない高齢者が増加する可能性に備え、個別健診の充実を検討してほしい。
- ・医療費の適正化のため、レセプト点検やジェネリック医薬品の使用促進などの努力を高く評価する。また、新型コロナウイルス感染症の影響による特定健診の健診控えが習慣化しないような仕掛けづくりを要望する。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

## 第 61 号議案 令和 2 年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 16億7,373万598円（前年度比0.7%増）  
歳出決算額 16億2,973万48円（前年度比0.7%増）  
歳入歳出差引額 4,400万550円
- 2 歳入及び歳出決算額が増加した要因は、いずれも被保険者数の増加によるものである。令和2年度の被保険者数は、前年度比で75歳以上が115人増加、一定の障がいがある65歳以上75歳未満は4人増加し、全体では119人、0.8%増となった。
- 3 保険料の現年度分の収納率は99.79%で、前年度より0.04ポイント上昇した。

### 【意見】

（反対意見）

- ・後期高齢者医療保険料の滞納者については、対象者が75歳以上の高齢者であることを鑑みて、滞納額を減らすということだけでなく、細やかに寄り添った対応を要望する。

### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

## 第 62 号議案 令和 2 年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 79億9,282万8,461円  
歳出決算額 77億4,714万9,814円  
歳入歳出差引額 2億4,567万8,647円
- 2 要介護認定率は13.9%と微減した。介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、被保険者が利用できるサービスの選択肢の幅が広がったこと、市内の日常生活圏域全てに地域包括支援センターが整備されたこと、介護予防事業に積極的に取り組んだこと等が要因と考えられる。
- 3 介護（予防）給付費と地域支援事業費の総額は71億9,859万1,355円で、前年度比1,755万1,814円の減となった。新型コロナウイルス感染症の影響によって利用者がサービスの利用を控えたこと等が要因と考えられる。
- 4 令和2年度は第7期介護保険事業計画の最終年度である。第7期の財政支出の計画値に対する実績値の比率は87.4%で、当初計画よりも実績が下回った。

### 【意見】

（賛成意見）

- ・コロナ禍において、生活支援コーディネーターや認知症初期集中支援チームの配置など、地域における支援体制を構築した職員の努力を評価する。第7期介護保険事業計画の成果を第8期に生かし、また、介護が必要な人が見落とされないように進めてほしい。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響は、介護サービスの利用者だけでなく、事業所にも波及している。数年後には被保険者が増加し、それに伴って介護認定者数の増加も見込まれるため、受皿となる事業所を確保するための創意工夫を続けてほしい。

(反対意見)

- ・高齢者が安心して必要なときに必要な介護サービスを受けられるよう、介護保険制度の在り方そのものを見直す必要がある。また、介護保険事業の従事者の処遇を改善することが重要である。

#### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

### 第 63 号議案 令和 2 年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに 4,571 万 8,498 円。
- 2 介護認定審査会は福津市と共同で設置しており、令和 2 年度は 16 合議体で延べ 222 回開催した。審査件数は宗像市と福津市の合計で 4,608 件、その割合は宗像市が 61.8%、福津市が 38.2% である。密を避けるため、審査会の開催を 2 合議体から 1 合議体に変更したことや、国の特例措置で認定期間が 1 年延長されたことにより、審査件数は前年比で減少した。
- 3 歳出の主なものは、認定審査会の委員報酬と旅費、審査会の判定資料の精査を行う専門職員の人件費に相当する審査会派遣職員負担金である。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

### 第 64 号議案 令和 2 年度宗像市渡船事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに 5 億 680 万 2,926 円。
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度の乗客数は 21 万 6,640 人で、前年度比 26.2% の減となった。なお、令和 2 年度 10 月から 12 月までの大島航路の乗客数が前年度同月と同じ水準を保っているのは、「おおしま旅キャンペーン」と題して来島者増を図る事業を実施した成果である。
- 3 空気循環式紫外線洗浄機を各船舶に設置する等、新型コロナウイルス感染症対策を実施した。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

## 第 65 号議案 令和 2 年度宗像市下水道事業会計決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 1 収益的収支の決算状況（税込み）

収入決算額 31 億 1,224 万 2,961 円

支出決算額 25 億 685 万 3,935 円

#### 2 資本的収支の決算状況（税込み）

収入決算額 13 億 4,919 万 400 円

支出決算額 23 億 6,521 万 5,143 円

収入不足分は、損益勘定留保資金等で補てんしている。

#### 3 特例的収支の決算状況（税込み）

収入決算額 439 万 5,200 円

支出決算額 1,283 万 3,689 円

特例的収支は、令和 2 年度から漁業集落排水処理施設事業に地方公営企業法を適用し、宗像市下水道事業会計へ会計統合を行ったことにより発生する暫定的な予算措置である。

#### 4 令和 2 年度末の下水道の普及率は前年度比 2.4 ポイント上昇し、99.4%となった。また、管渠の総延長は 605.5 km、処理区域面積は 2,604 ha となった。

#### 5 令和 2 年度も降水量が多かったため不明水が増加し、有収率は 84.3%となった。不明水については、マンホール蓋や公共樹の取替え、管更生などの対策を講じている。

### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

## 第 67 号議案 令和 3 年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第 1 号）について

歳入歳出それぞれ 240 万 3 千円を増額し、540 万 1 千円とする。

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

令和 2 年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で減債基金積立金を増額する。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

## 第 68 号議案 令和 3 年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について

事業勘定は、歳入歳出それぞれ 2 億 5 万 7 千円を増額し、9 9 億 5 9 1 万 2 千円とする。直営診療施設勘定は、歳入歳出の予算総額は変わらず、歳入の内訳を補正する。

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

### 〔事業勘定〕

- 1 令和 2 年度事業勘定決算額の確定に伴い繰越金を増額する。また、直営勘定決算額の確定に伴い、歳出で繰出金を減額し、歳入の基金繰入金を減額する。
- 2 職員の異動に伴い人件費の不用額が発生したため、歳出で総務管理費を減額し、歳入で他会計繰入金を減額する。
- 3 県支出金の精算金として諸支出金を増額する。令和 2 年度特定健康診査等負担金及び普通交付金の返還のほか、会計検査院による検査で平成 2 8 年度の特別調整交付金（結核・精神）が過大交付であるとの指摘を受け、県の指導のもと自主点検を行った結果、差額を返還する。

### 〔直営診療施設勘定〕

令和 2 年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、事業勘定繰入金を減額する。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

## 第 69 号議案 令和 3 年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）について

歳入歳出それぞれ 1, 5 6 5 万円を増額し、1 7 億 3, 6 1 6 万 3 千円とする。

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 令和 2 年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で後期高齢者医療広域連合納付金を増額する。
- 2 ウェブ口座振替受付サービス導入に係るシステム改修のため、歳入で一般会計繰入金を増額し、歳出で総務管理費を増額する。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

## 第 70 号議案 令和 3 年度宗像市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について

歳入歳出それぞれ 2 億 9, 4 7 2 万 8 千円を増額し、8 1 億 2, 9 9 7 万 4 千円とする。

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 令和2年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で諸支出金と基金積立金を増額する。令和2年度交付金等の精算に伴い、歳入で追加交付された不足額分を増額する。
- 2 当初予算において、保険給付費の一部を過少に見込んでいたため、今年度の実績と現状を踏まえ、歳出で保険給付費を増額し、歳入で国庫支出金や支払基金交付金等を増額する。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

### 第71号議案 令和3年度宗像市渡船事業特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出それぞれ2,011万7千円を増額し、5億7,157万1千円とする。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 平成30年度及び令和元年度分の消費税について、算定誤りが発覚したため修正申告を行った結果、差額分を納付する必要が生じたため、歳入で一般会計繰入金を増額し、歳出で店費一般事務費と予備費を増額する。なお、令和元年度分の消費税差額分は延滞税の増額を抑えるため、予備費を充用して既に納付しており、予備費の増額はその補填である。
- 2 航行中に浮遊物等で船舶が損傷したことがドック時に発覚したため、歳入で損傷に係る船舶保険金として雑入を増額し、歳出で修繕費として船費を増額する。
- 3 新500円硬貨の発行に伴う券売機の改修のため、旅客費を増額する。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

### 第72号議案 令和3年度宗像市下水道事業会計補正予算（第1号）について

収益的収入及び支出において、収入を9,745万7千円減額し、収入総額を29億9,223万円に、支出を1億2,762万2千円減額し、支出総額を25億5,397万9千円とする。資本的収入及び支出において、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額等で補填する額を改め、収入支出それぞれ1億6,000万円増額し、収入総額を4億5,115万8千円に、支出総額を14億5,179万5千円とする。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 補正の主なものは、令和2年度決算額の確定に伴うものと、し尿受入施設整備事業によるものである。
- 2 宗像市終末処理場内にし尿受入施設を整備するため、資本的収入で企業債と補助金を増額し、資本的支出で建設改良費を増額する。また、令和4年度までの債務負担行為を追加する。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。